

太陽黒点観測報告

2019年 11月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は、下旬までは晴天傾向が続いたが、下旬になると関東南部では一週間にわたり曇天で連日雨模様であった。東京では、11月に7日連続で降水量の記録のあったのは、1950年以来69年ぶりの事であった。22日からは蓼科へ移動しての観測となったが、内陸の長野東部でも不安定な天候となって、晴れ間は少なかった。

黒点活動は今月も弱く、月初めに寿命の短い小型群が南半球に観測されただけであった。この黒点群は極性と出現緯度から新しいサイクルの黒点群であった。その他の黒点活動はなく、目立つ白斑の出現も少なく。単調な太陽面を見る毎日になっている。

今期は2223~2224周期の観測だった。私の所では南半球に1群の新しい黒点群を観測しただけであった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻 (Date JST), 北半球 (N. Hemisphere), 南半球 (S. Hemisphere), 全面 (Whole Disk), 中心帯 (Central Circle Z), 相対数 (Relative Number), 視相 (See-Trans-), 肉眼黒点群 (Group observed by the naked eye), 天候 (Weather). Rows include dates from 01 to 30, with some marked as missing (\*22-26, 27-28).

合計 0 0 2 3 2 3 0 0 23 0 -- (---/ 0日)

相対数(10g+f) 0 23 23 0

日平均相対数 0.0 1.1 1.1 0.0

相対数活動比 0% 100% 0%

相対数前月比 Div. by 0 +56.5% +56.5% Div. by 0

日平均相対数 0.0 0.7 0.7 0.0

修正値 (k=0.6)

観測日数 21 日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')
長野県茅野市豊平チエルトの森 (北緯 35° 59.8' 東経 138° 17.5')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント
\* 6.5cm屈折望遠鏡 (f= 780mm) 43倍 15cm投影、62倍、87倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

### 3) 黒点群活動表

略語表

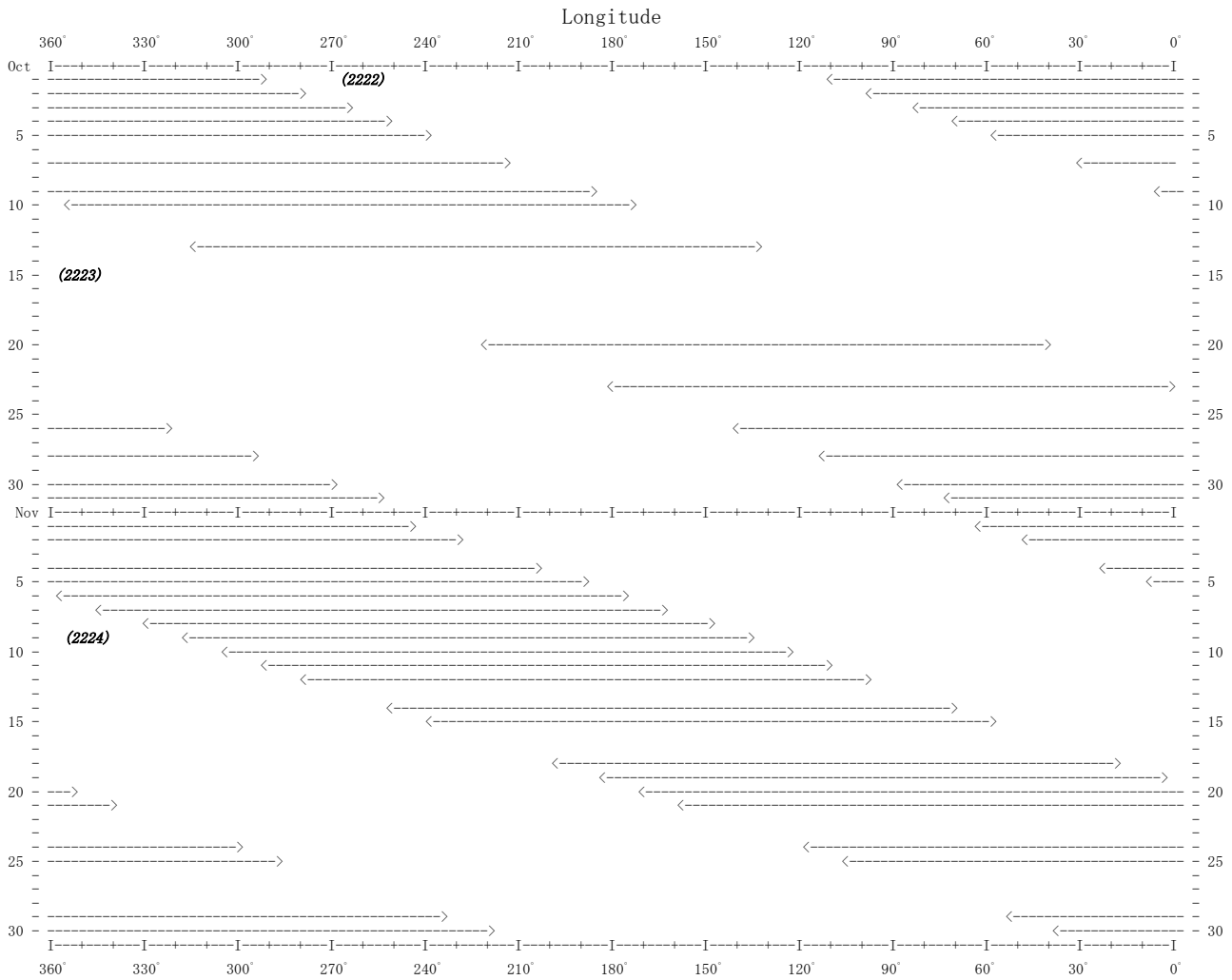
e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;  
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;  
 \*/\_ : Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra

#### 北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測期間 初日 中央通過 末日 F. Obs. C. M. P L. Obs.	活動状況 Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage - - - - - :- :- - - - - -
Ro. #	NOAA Murakami	(None)			

Sunspot Drift-Chart    October 2019 ~ November 2019

北半球    Northern hemisphere



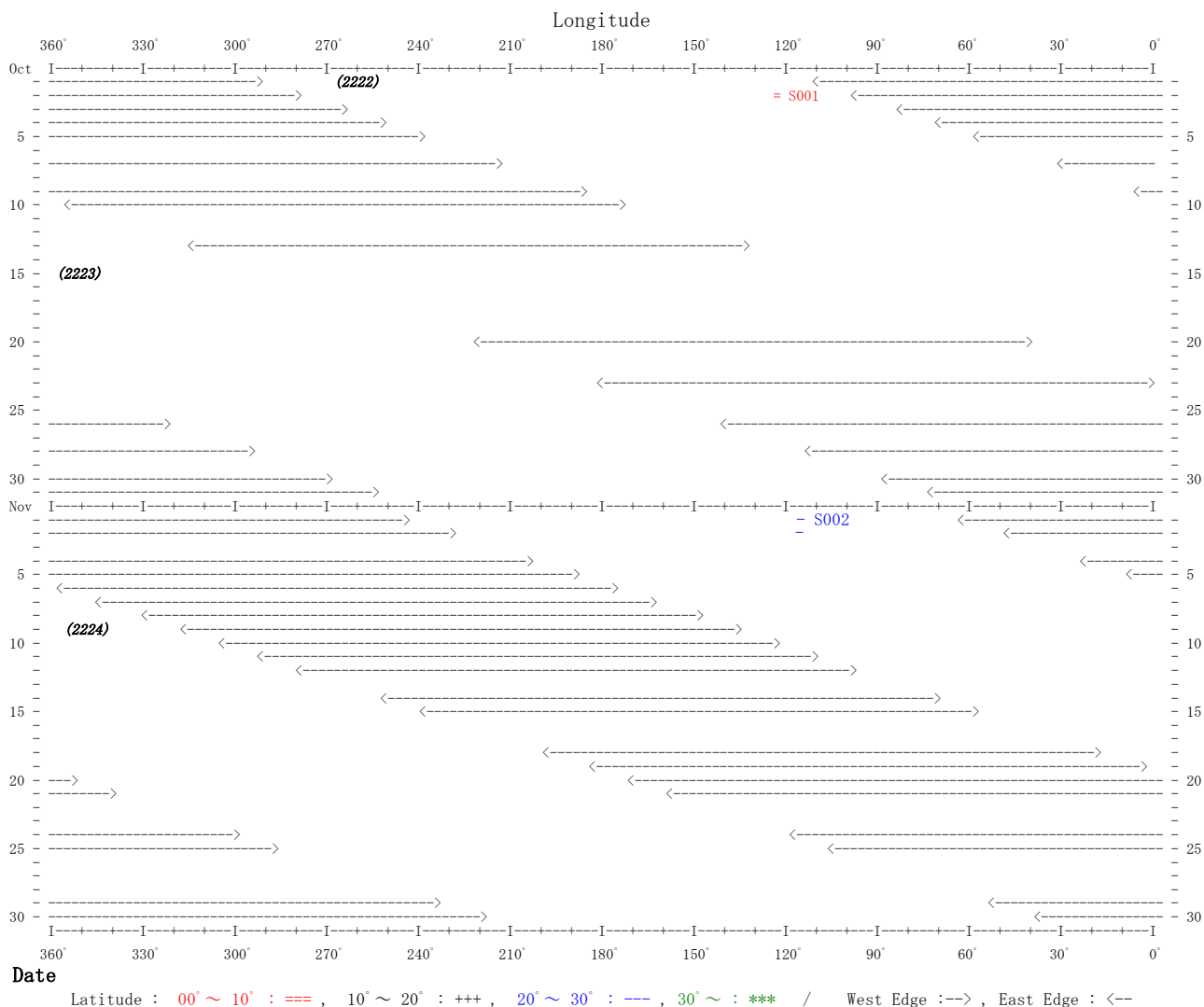
### 南 半 球

周期	群番号	太陽面	太陽面	観測期	間	活動状況
番号	Group Number	緯度	経度	初日	中央通過	末日
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.
2223	12750 S19002	S28	117-118	Nov 01	—	02

Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage  
 - - - - - :-:- - - - -  
 eo A1 a2 - ec1?

Sunspot Drift-Chart October 2019 ~ November 2019

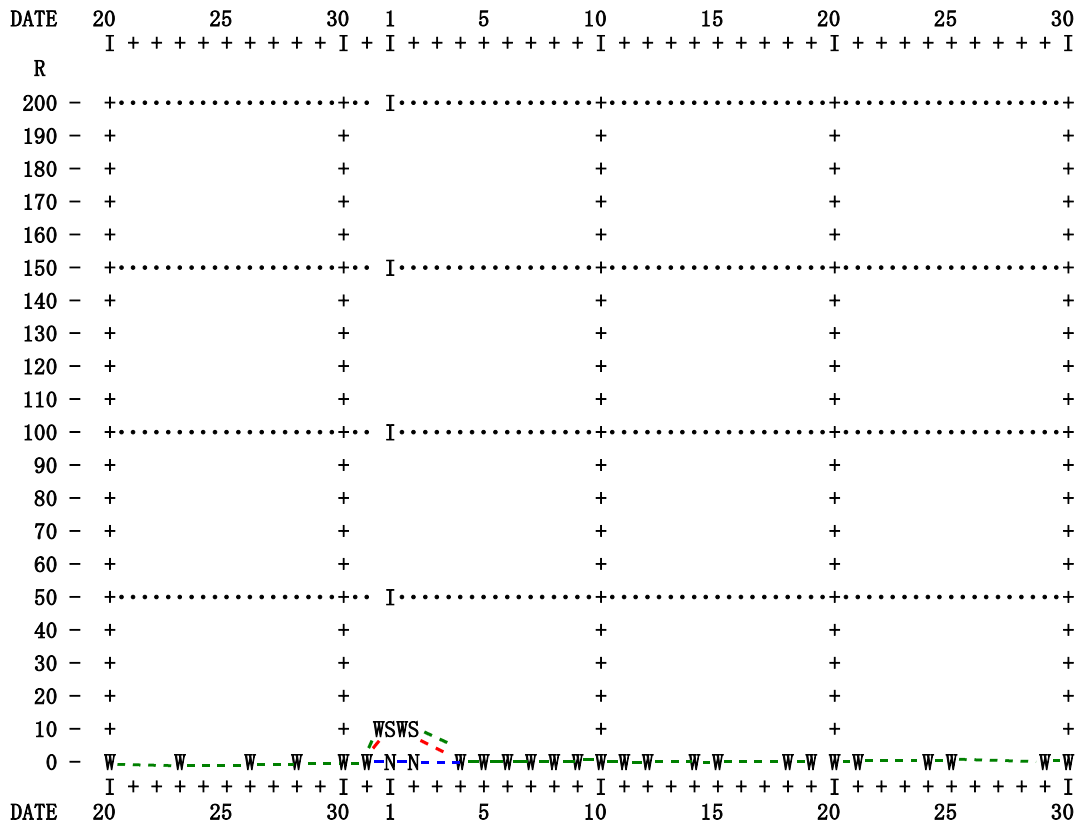
南半球 Southern hemisphere



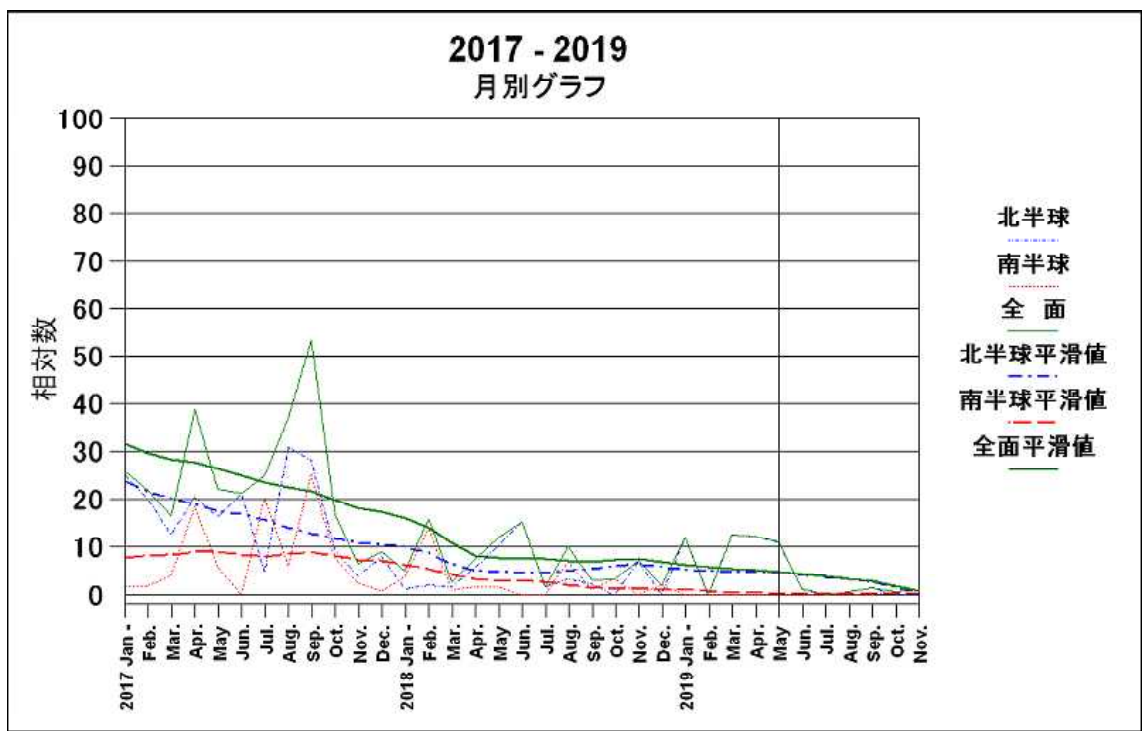
#### 4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0)      W:全面 N:北半球 S:南半球

2019 November



#### 5) 前年からの月別相対数変化図



平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2019 May までの値が今月までの観測を反映している。